

# 2019（令和1）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会  
みどりの森

## 1. 理念・方針

### （1）法人理念

#### ①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

#### ②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

#### ③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

#### ④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

### （2）中期目標（平成29年度～平成31年度）

地域に根付いた生産活動や、さまざまな自治会行事・活動に参加しながら、認め合い、地域の社会資源としての存在感を発揮できるようになる。

→・地域防災訓練などに参加できた。

・さまざまな行事や活動に自主製品やグリーンバンド等を通して知っていただくことができたと感じた。地域の人たちから感謝の言葉を頂けた。

・自主製品販売やバザー開催、回収や清掃、バンド演奏などみどりの森としての存在価値を示していけたと感じた。地域活動のうち、T ボール大会や諏訪町運動会は天候に恵まれなかったが、諏訪神社のお祭りや新たに防災訓練に参加し幅を広げつつある。

地元での農業活動は地主の事情で縮小となったが、八国山農園で地道に継続したい。

・予定された地域行事のほか、季節ごとに小さな行事にお誘いを受けることが増えてきている。利用者を知るにつれ、安心して誘っていただけるようになったと感じる。全体としての日課は変更できないが、今後も少人数でも参加していきたい。

### （3）基本方針

①地域の行事に積極的に参加し、グリーンバンドなどを通して盛り上げる工夫を行なう。また自治会と相談しながら、季節の草取りや祭りへの参加など、得意とすることで地域に貢献し、有益な社会資源としての役割を担えるよう努める。

→・グリーンバンドは八国山フリマや福祉の集いなどに参加し、地域の人と交流できた。

・草取りは日程調整できず、ごみ拾いのみに終わってしまった。

・バンド会議を実施し、万人受けする曲を検討している。

- ②焼き菓子（自主製品）について、販促用品を利用して認知されるよう努めながら、商品の形、ラッピングを改良し、オリジナリティを出していく。
- ・玄関前に立て看板を置いたのが良かった。地域の方が直接施設に買いに来てくれた事により、通常利用者が作業している様子を見ていただけた。新しく作ったのぼりなど、販売の際に使用した。
  - ・ランドブレインを活用しつつ、工夫を行った。今後は利用者参加と生産ペースに合った販路作りが課題と思われる。関わる人、場所がもっと整えば作る量を増やし、売り上げも伸びると思う。
  - ・試作を重ね、新しいものができつつあるように感じる。次年度は形にして外部に知らせる努力をしたい。
- ③地元の畑で地域の人と関わりながら、一連の農作業体験を通していろいろな事を学び、健康な心身を作る。
- ・猛暑で利用者も大変だったが、種まき、水やり、収穫などの作業で地域の方に農作業を学ぶことができた。
  - ・9月で耕作地が縮小したが、残っている畑で頑張りたい。
- ④継続して通所できるよう、健康の維持・増進と病気の早期発見に努める。
- ・健康診断、月初めの体重・血圧測定等実施できたが朝のウォーキングは職員配置で実施できない事が多かった。
  - ・早期発見ができてでも家庭で「大丈夫」と言われて医療につなげられない人もいた。家庭の意欲向上が必要と考える。嘱託医からのお話等、健診でひっかかる前に対処したい。
- ⑤就労している人が継続して働くことができるよう支援していくと共に、これから希望する人に、短時間就労などニーズに応じた職場開拓も行なっていく。
- ・1名休職してしまった。今後様子をみながら対応に心掛けたい（就労している人の体調管理が必要だった）。

## 2. 施設概要

- (1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）
- (2) 利用定員 31名（平成31年度当初利用者数34名・途中2名入所・1名退所）
- (3) 開所年月 平成21年4月
- (4) 施設規模 敷地面積  
延床面積 178.86㎡  
建物構造 鉄骨造り（地上2階1階使用）  
賃貸区分 民間より賃貸

## 3. 職員構成

- (1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名（兼務）
支援員（常勤職員）	4名

保育士 (常勤職員)	0名
調理員 (常勤職員)	0名
事務員 (非常勤職員)	1名
支援員 (非常勤職員)	7名
保育士 (非常勤職員)	0名
調理員 (非常勤職員)	4名
看護師 (非常勤職員)	0名
理学療法士 (非常勤職員)	0名
作業療法士 (非常勤職員)	0名
合 計	17名

(2) 嘱託

医師 (4回/年)	1名
看護師 (0回/年)	0名
理学療法士 (4回/年)	1名
作業療法士 (0回/月)	0名
合 計	2名

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1	2	3	4	なし	合計
愛の手帳	1名	11名	15名	7名	0名	34名
身障手帳	3名	2名	0名	0名	0名	5名
精神保健手帳	0名	0名	0名	0名	0名	0名

※身障手帳、精神保健手帳と重複

(2) 年齢構成 (平均年齢 35.6歳)

	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	合計
男	0名	8名	5名	6名	3名	0名	22名
女	0名	5名	4名	2名	0名	1名	12名
合計	0名	13名	9名	8名	3名	1名	34名

最低年齢 男…23歳 女…23歳 最高年齢 男…50歳 女…77歳

平均年齢 男…35.8歳 女…36.1歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	清瀬市	杉並区	合計
32名	1名	1名	34名

#### (4) 障害支援区分

区分	1	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	0名	3名	7名	7名	7名	0名	10名	34名

#### (5) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所者	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
月末数	36	36	36	36	36	35	35	35	35	35	35	34	424
延べ日数	792	792	792	828	828	792	805	770	805	805	735	805	9549
延べ人数	723	691	684	715	718	681	716	669	709	716	674	722	8418
出席率(定員)	106.0	101.3	100.3	100.3	100.7	99.9	100.4	98.1	99.4	100.4	103.5	101.3	101.0
出勤率(現員)	91.3	87.2	86.4	86.4	86.7	86.0	88.9	86.1	88.1	88.9	91.7	92.3	88.3

### 5. 日課

#### (1) 月～金曜日

時間	内容
8:30～9:00	朝礼・ウォーキング・ストレッチ
9:00～12:00	作業
12:00～13:00	昼食・昼休み
13:00～15:30	作業
15:30～15:45	清掃
15:45～16:00	終礼・帰宅

#### (2) 土曜日

8:30～9:00	朝礼・ストレッチ
9:00～11:20	作業
11:20～11:30	作業片付け
11:30～12:00	昼食・終礼・帰宅

※状況により変更あり

### 6. 重点目標

#### (1) 地域の有効な社会資源としての役割を担う。

- ①日常的に地域清掃に努めると共に、地元自治会と相談し、川沿いの草刈りなど、得意な事で地域住民に喜ばれる事に取り組み、有効な社会資源としての役割を担う。

→・古紙回収の後川沿いのごみ拾いを行った。資源回収、公園清掃を通して「ありがとう」の声を聴くことができた。

・自治会の実施する清掃は2回/年あったが、日曜日で一緒には参加できなかった。

- ②施設全体でにぎやかに参加し地域の行事を盛り上げながら、グリーンバンドや焼き菓子販売

などを通して地域に貢献する。

→・土日のイベントが多いが、十分参加できた。

- ・八国山フリマは利用者全員参加し、仮装して楽しめた上、イベント自体も盛り上がった。
- ・焼き菓子の認知度が高くなったと感じる。
- ・地域行事は地域の防災訓練参加と諏訪大祭への参加人数が増えた。

③給食の食材や外食などで地域の店舗を利用することで、地元の特産品や名物に親しむと共に、消費者としても地域に貢献する。

→・外食を通して利用者は楽しめた上、地域の人たちは利用者の様子に安心し、理解が深まったと感じる。

- ・地元のお店を利用することで、利用者を知ってもらえてよいと感じた。うどん等の名物を知ることもできた。
- ・利用者とともに買い物するなど、地域に顔を知られてよかった。

## (2) 健康・衛生

①定期健康診断・歯科検診・感染症予防注射・歯磨き指導・体重血圧測定その他、婦人科検診（子宮がん）を行い、病期の早期発見に努めて家庭と情報を共有し、必要に応じて医療につなげる。

→・毎月実施できた。また体重の増減をチェックし家庭と情報共有し、対策を検討できた。今後、専門性のある人に、保護者会での説明をしてもらえたらより健診が活きると思う。

- ・眼科検診や耳鼻科検診も数年に一度はできたらよいと思う。
- ・定期健康診断（ひなたの道にて）白十字病院 4 / 3  
インフルエンザワクチン接種 11 / 18  
歯科検診 折笠 Dr. 2 / 6

②感染症予防のため、定期的に消毒し衛生環境を整える。また流行する季節には毎朝検温を行ない健康状態を確認するなど拡散防止に努める。

→・冬季は建物の構造上か、加湿が少し不足気味になりやすかった。

- ・トイレの消毒を毎日実施した。検温も実施。毎日体調をチェックできている。

③理学療法士による個々のプログラムの実施等、身体機能の維持向上を図りながら、マッサージや講師を招いての笑いヨガ、ダンスなどリラックして楽しめる時間を作る。

→・ストレッチなど、全体で行うものもやっていきたい。

- ・PTのプログラムを個別支援計画に取り入れる利用者が増えた。
- ・笑いヨガ、ダンスなど実施できなかった。

④作業開始前に個々の状況に合わせて地域周辺をウォーキング、ストレッチして身体を動かす。

→・夏以降ウォーキングできなかった

- ・ウォーキングを継続できるよう時間を調整するなど工夫が必要。
- ・ストレッチを実施しない人が増えている。少しマンネリ化気味の様子がみられるので、工夫が必要と感じた。

## (3) 作業・就労活動

①焼き菓子は既存の商品を基に形状やラッピングをアレンジし、付加価値を上げるよう努める。

- ・お遣いものにできるような箱やラッピング、シールができた。
  - ・コンサルタントより品質はとても向上していると言われていたが、クッキーは試行からそろそろ定型化したい。
- ②現在就労している人が継続して働き続けられるよう関係機関と連携し、フォローしていく。  
また、ニーズに応じて外部実習や短時間雇用の開拓・支援を行う。
- ・担当が手厚く行った。担当以外も巡回に行くと、より励みになるかと思われる。
  - ・1名休職。1名新規で採用となった。
- ③業者との良好な関係を継続し、安定した工賃収入が得られるようにしていく。
- ・ミスが多発したが、コミュニケーションを密にすることで事なきを得た。手が空いた時の対応が今後の課題。
  - ・受注業者をほぼ3社に絞り、連絡を密にして作業を受け12～15万/月を維持することができた。
- ④農作業を通して利用者の心身の安定を図る。
- ・土に触れ野菜を収穫することで自然の中で気持ちが安定する効果を感じられたが、作業頻度を増やすことができなかったため、次年度もう少し力を入れていきたい。

事業所内活動

(単位:円)

	受注・納品先	作業内容	稼働日	参加者	平成30年度収入	令和元年度収入
自主製品	ハナショウブ・白十字ホーム・豊島屋・産業祭他	焼き菓子	週2回	10名	1,098,105	940,320
清掃事業	西武・武蔵野パートナーズ	中央公園清掃	月9回	8名	740,000	732,600
	白十字ホーム	施設内の草取り	8回	8名	99,840	66,980
	東京都	多摩北部枝葉運搬	月4～8回	全員	723,276	0
	東村山市	屋外体育施設清掃	月4回	全員	0	436,000
	都営住宅自治会	施設内の草取り	年2回	全員	0	164,800
	萩原マンション	マンション廊下他清掃	月4回	6名	0	45,000
受託事業	(福)平成の里	封入・シール貼り	随時	全員	1,212,775	698,521
	(株)新日本包装	箱折り・組み立て	随時	全員	413,619	434,138
	(株)プロメディア	封入・シール貼り	随時	全員	589,982	796,797
	(株)八基通商	食品包装	随時	全員	4,680	3,580
	(株)新光	ダンボール組立て	随時	全員	80,000	50,000
	(株)Eネクスト	封入	随時	全員	82,019	23,335
	ばど	ポスティング	随時	全員	51,854	48,464
	かきの木農園	農作業	随時	全員	99,690	28,680
その他事業	市内・近隣地域	古紙・リサイクル品回収	週2～3回	8名	2,690,114	1,847,824
	ミニバザー	リサイクル販売	月2回	8名	433,947	377,295

小 計①	8,319,901	6,694,334
------	-----------	-----------

パート・アルバイト

(単位:円)

	受入先	作業内容	稼働日	参加者	平成30年度収入	令和元年度収入
パート契約	ライフサポートつばさ	清掃	週5日	1名	319,845	0
パート契約	セイコー物流	倉庫業務	週5日	1名	961,483	530,235
パート契約	ハーベスト	給食食器洗浄	週5日	1名	468,330	926,349
パート契約	白十字ホーム	下膳	週1日	1名		9,033
小計②					1,749,658	1,465,617
合計①+②					10,069,559	8,159,951

工賃支払実績

(単位:円)

	総額	平均額	最高額	最低額	パート・アルバイト
4月	451,350	12,538	18,400	2,180	150,951
5月	451,450	12,540	18,820	2,770	155,630
6月	399,340	11,410	18,110	1,420	186,905
賞与	358,000	9,944	14,000	5,000	
7月	426,140	12,175	19,330	2,260	165,480
8月	373,600	10,674	16,510	1,410	152,922
9月	419,870	12,349	18,400	2,740	112,595
10月	414,220	12,183	17,660	2,740	97,269
11月	415,430	12,219	18,430	2,160	107,378
12月	354,520	10,743	16,140	2,020	90,917
賞与	357,000	10,500	14,000	4,000	
1月	366,370	10,776	16,360	3,010	86,359
2月	330,070	9,708	13,240	2,740	85,475
3月	358,350	1,0540	14,490	2,280	73,736
合計	5,776,900	155,460	249,300	37,450	1,465,617
平均	481,408	12,955	20,775	3,121	

※パート・アルバイトについては本人へ直接支給される。

(4) 給食

①自治会で利用者本人から出た意見をメニューに反映しながら、選択給食も充実させていく。

→・写真を使い利用者が理解しやすい形で意見を聞くことができた。また新しいメニューや、食堂の壁に張ったメニューから選ぶなど、新しい試みをする事ができた。メニュー全体として、メニューの幅も品質も向上していると感じる。

②四季を感じながら楽しく美味しく食べられるよう装飾や演出を行う。

→・テーブルクロスや壁面細工の演出を喜ばれた。

③栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

熱量	蛋白質	脂肪	カルシウム	ビタミン			
				A	B 1	B 2	C
799kal	22.7g	23.4g	181mg	367μg	0.7mg	0.5mg	56mg

(5) 自治会活動

利用者が日々感じている事を発信する場を提供し、要望などを具体化するための支援を行う。また自分の意見が取り上げられるという体験を通し、みどりの森の日課に興味を持ち積極的に過ごす事ができるよう支援していく。

→・定期的に行い、意見の吸い上げができた。またいろいろな議題を出して話し合うことができてよかった。次年度は発表の場をもっと作りたい。

・選択肢の用意等、話すことが苦手な方への配慮をもっとできる事があったと感じる。

(6) 行事

①クラブ活動（隔月実施）

種目	主な活動場所	結果
カラオケ	ビッグエコー	5/17, 5/31, 7/12, 7/26, 9/13, 9/20, 11/1, 11/29, 1/1/31 ・ずっと人気がありニーズが高かった。 ・発声の場ととらえ、参加が必要な利用者がもっといるように思える。 ・リモコンが少しずつ使えるようになったり、通常話さない人同士が仲良くなって良かった。 ・自分で選曲するか最後まで歌いきるいずれかが、全員出来るようになった。
音楽・料理	諏訪町自治会館・みどりの森食堂	5/31, 8/2, 9/27, 11/8, 1/24 ・諏訪先生の音楽は毎回楽しめ、料理班のデザートもホッとする時間となっており、充実していた。 ・諏訪先生を中心として合唱やリズム体操、打楽器演奏などを楽しんでいる。
映画		5/24, 7/12, 9/20
買い物		5/10, 7/5, 9/13, 11/6, 目的を作ったほうが良い。ファッションの発展ができる。
お風呂	菊水亭他	5/24, 7/5, 9/27, 11/22, 1/24 ゆったりと過ごせた。声掛けは必要だが、洗うことも良くていた。

次年度：卓球、フラダンス、ヨガはどうか



## ② 年間行事

日付	内容	場所	目的	人数
4/2	お花見ウォーキング	八国山周辺	新しい利用者・職員と親睦を深める	41名
6/10	Tボール大会→中止	化成小校庭	Tボールを通じ、地域の方々と交流し情報交換を行なう。またみどりの森の自主製品を知ってもらう。	名
7/19	保護者参加バス旅行	山梨方面	利用者・保護者・職員の相互理解を深めると共に家庭での様子を聞くことで、今後の支援に活かす	55名
7/23・30	防災体験	立川防災館	社会資源を利用し実践的な防災体験を行なう	46名
8/9	暑気払い	市民ステーションサンバルネ	地域の人形浄瑠璃を観て諏訪町の歴史や文化に触れながら、利用者・地域の方々・保護者の親睦を図る	75名
8/28	グループ外出「映画」	新宿東宝シネマズ	事前に計画を立ててモチベーションを上げる。また各自の目標に挑戦しながら映画鑑賞を楽しむ。	8名
9/8	諏訪町運動会	化成小学校	地域交流、体力作り。台風接近のため半日で終了となった。	30名
10/10	G外出「ムーミンバレーパーク」	ムーミンバレーパーク	飯能の自然を楽しみながら、ムーミンの世界を堪能する	8名
10/18	グループ外出「BBQ」	西武園うえんち	各自の目標を達成しながら協力し合いBBQで季節の食材を味わう。	10名
10/28	八国山フリーマーケット	白十字ホーム	市内の福祉関係者と交流して関係を上げると共に、グリーンバンド発表の場とする。さらに自主生産品の販売を通して来所者にみどりの森に来て頂く機会とする	48名
10/30	G外出「山登り」	天覧山	ハイキングを介してそれぞれが担う役割を責任をもって果たし、助け合いながらグループで行動する	6名
11/3	共催運動会	八坂小学校	身体を動かしながら各施設の交流を図る。また昼休みはグリーンバンドの発表の機会として活用する。	50名
11/14～15	宿泊旅行「日光方面」	栃木・日光方面	集団及びグループ行動で仲間と協力する力を育み、コース等選択しながら意思決定力を身につける	38名
11/26	G外出「ムーミンバレーパーク」	ムーミンバレーパーク	ムーミンパーク内散策を目的にそれぞれが担う役割を責任をもって果たしながらグループで行動する。	7名
12/7	福祉の集い	東村山中央公民館	地域の祭りをグリーンバンドが盛り上げる役割を担うと共に、自主製品販売を通して活動を知っていただき、地域に貢献する	15名
12/21	クリスマス忘年会	みどりの森	季節を感じながら1年の労をねぎらい楽しい時間を過ごす。	53名
1/19	成人を祝う会	中央公民館	卒業後の節目を祝う	30名
1/25	施設まつり	みどりの森	近隣、地域の方と交流して相互理解を深め、パザ一品や自主製品を販売して栄養者工賃に反映させる	52名
1/28	G外出「果物狩り」	秩父・小松沢レジャー農園	各自の目標を達成しながら季節の果物を味わう	8名
3/7	納会	みどりの森	1年を振り返り、家庭に対し報告の場を作る。利用者に思った事を表現してもらう。また運営に	40名

## 7. 防災訓練

### (1) 防災

①災害時の利用者の安全を図るため、防災計画に基づき月1回防災訓練を実施する他、年に1回防災館でのリアルな防災体験に参加して意識を高める。また災害備蓄食料を使った防災体験も年間計画に盛り込んでいく。

- ・実施できた。また日ごろの訓練が身につけていて、利用者もすばやく行動できた。
- ・訓練はみんな真剣に取り組めた。
- ・備蓄を入れるスペースがないのが厳しい。

②地域の自治会、福祉協力員等関係機関と連携し、非常時に相互支援ができる協力体制をとる。

- ・地域の防災訓練に何人かの利用者と一緒に参加した。

## (2) リスクマネジメント

- ①事故対応マニュアルを施設内に掲示すると共にワゴン車・トラックにも常備し、緊急時に対応できるよう努める。  
→・研修時に頂いたマニュアルを使用することで研修でのことを活用できた。
- ②施設内のリスク軽減のため、安全な環境作りのための整理整頓を実施する。  
→・時間のある限り整理整頓を心掛け、ごみの処分も忘れずに行ったが、作業種によって、雑に置いてあることがあった。次年度もう少し職員の理解が必要だと感じる。
- ③救急救命講習のほか日常のケガ対応についての講習会を行ない、すべての職員が、さまざまな状況に対応できるよう努める。  
→・わかりやすい講習のおかげで、対応の知識を身につけられた。
- ④安全運転管理者を中心に職員の運転チェックを年1回程度行い、安全運転への意識を恒常化していく。  
→・意識づけになった上、マニュアルも新しいものを用意できた。

## 8. 実習生の受け入れ

- (1) 特別支援学校・在宅者の受け入れを行ない将来の進路選択につながる機会を提供する。
  - ・特別支援学校からの実習はなかったが、在宅者の受け入れを行なった。
- (2) 大学からの実習を受け入れ、将来福祉の職場で働く人を増やすよう育成に努める。
  - ・介護体験などその後の行事（運動会）へのボラ参加につながった。  
介護等体験          5日間   ×   24名  
市立2中・4中より職場体験2日間      2中   4名   4中   3名

## 9. 父母会、親の会との連携

### (1) 父母会

- ①保護者会を開いて施設に対する理解を深め、協力頂けるよう努める。
  - ・利用者の様子をわかりやすく伝えられるよう写真を使って説明しているが、次年度は講師を呼ぶなど、もう少し工夫したい。
  - ・みどりの森父母会費を行事に合わせて出金して頂いたり、必要物品の寄付等、保護者から提案して頂くなど、施設に対する理解・協力はかなり進んでいると感じる。
- ②個別面談（年1回）や保護者参加の行事を通して、相互に情報交換と交流を図る。
  - ・個別面談は保護者とゆっくり話せる貴重な時間となった。
  - ・家庭から新しい情報が入り、信頼関係も増すので意味のある機会となった。
- ③みどりの森便りを月1回発行し、施設での日常の様子を伝えていく。
  - ・月末から月の半ばに発効日を変えて、落ち着いてできるようになった。
  - ・写真を多く使い、様子が分かりやすくなった。また利用者の好きな食べ物や得意な仕事などを聞き取り、みどりの森便りに自己紹介コーナーとして載せたのが評判良かった。

### (2) 親の会

行事部会を中心に、双方の連携を図り、円滑に進めていく。          →実施中

## 10. 職員研修

①福祉職員として現場で活かせる専門分野の知識や技術を習得すると共に、一社会人として知っておくべき常識やビジネスマナーも習得する。

→・自分の支援を見つめなおす良い機会となった。精神面の知識をもっとつけていきたい、などの感想が聞かれた。

②研修部会を中心にした全体研修会で法人の方針などを確認すると共に、施設間の交流や情報交換を行なう。

→・様々な分野の専門家の話を聞くことで、知識の充実につながった。

研修名	実施日	主催	実施場所	参加者
全体職員研修	4月4日	社会福祉法人山鳩会	ひなたの道就労継続B型事業所	全員
安全運転管理者講習	5月31日	東京都安全協会	昭島市民会館	田中英史
第1回虐待防止・権利擁護研修	6月12日	東京都社会福祉協議会	全社協灘尾ホール	白水楓子
事例から学び実践に役立つ支援～合理的配慮から	6月19日	東京都障害者通所活動施設職員研修会	国立オリンピック記念青少年総合センター	柳葉ひかり
栄養管理講習会	6月19日	多摩小平保健所	多摩小平保健所	近藤香織
多飲水・水中毒の支援	7月13日	東京都社会福祉協議会	飯田橋セントラルプラザ	田中英史
全国知的障害関係施設長等会議	7月22日～23日	日本知的障害者福祉協会	パシフィコ横浜	真崎ひろみ
パワーアップフォーラム	7月26日	公益財団法人ヤマト福祉財団	全社協灘尾ホール	前森直美
全体職員研修	10月3日	社会福祉法人山鳩会	ひなたの道	全員
障害者虐待防止法について	11月14日	東村山市障害支援課・基幹相談支援センター一と	東村山市社会福祉協議会	田中英史 柳葉ひかり
栄養管理講習会	12月5日	多摩小平保健所	多摩小平保健所	岩崎豊子
メンタルヘルス	12月16日	東京都福祉保健財団	東京都福祉保健財団	真崎ひろみ
行動障害についての理解と支援について	12月18日	東京都社会福祉協議会及び東京都グループホーム運営協議会	飯田橋セントラルプラザ	白水楓子
食品の適正表示推進者フォローアップ講習会	1月30日	東京都福祉保健局	練馬文化センター	前森直美 井上典子
障害者の多様な働き方とその支援	2月5日	東村山市障害者自立支援協議会	東村山市地域福祉センター	前森直美
栄養ケアマネジメントへの取り組み→中止	2月21日	東京都社会福祉協議会	飯田橋セントラルプラザ	近藤香織
意思決定支援とは→中止	3月2日	東京都社会福祉協議会	東京都福祉保健医療研究センター	小嶋啓介

## 1 1. 会議

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回／月	行事实施、利用者対応等について
評価・アセスメント 会議	2回／年	アセスメントの見直し、支援計画について検討
給食会議	1回／月	自治会等が出た利用者による希望メニューの検討、 課題等
ケース会議	3ケース／月	ケース個々について検討
生活・作業場面会議	1回／月	各場面等について課題・検討
自主生産会議	1回／月	自主生産について検討

## 1 2. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、セクシャルハラスメント防止

### (1) 苦情解決

- ①規定に基づき問題が発生した時は親切丁寧迅速に対応し、問題解決にあたる。
- ②担当窓口及び第三者委員を設置し、丁寧に対応する。

### (2) 個人情報保護

規定、個人情報提供同意書に基づき、個人の情報を提供する際は慎重に取り扱い、データの管理を適切且つ安全に取り扱う。

- ・個人情報についてはシュレッダーにかけて外部にでないよう取り扱った。

### (3) 虐待防止

法人研修部会を中心に取り組み、また担当者を設置して利用者の人権を守り、主体性を尊重した支援を行なう。

### (4) セクシャルハラスメント防止

男女一人ずつ担当者を設け、防止・対応にあたる。

### 苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ	395-3210
担当者	前森 直美	395-3210
第三者委員	赤木 ふき子	395-3210

### セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ	395-3210
担当者（男性）	田中 英史	395-3210
担当者（女性）	柳葉 ひかり	395-3210

### 虐待防止

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ	395-3210
担当者	小嶋 啓介	395-3210

#### 14. 人事考課

目標面接	中間面接	10月
	期末面接	3月
振り返りシート		3月